

こぱんはうすさくら 児童発達支援 ガイドラインアンケート実施結果を公表します

こぱんはうすさくらでは、より良いサービスを提供するため、「児童発達支援ガイドライン」をもとに保護者様のご意見やお子様の成長状況を把握し、教室での今後の取り組みを明確にしていくことで、支援の質の向上とお子様の成長につなげてまいります。

◆ 神戸湊川教室 ◆

★保護者様からのご意見

項目	いただきましたご意見
環境・体制整備	反応の乏しい我が子も先生の楽しそうなテンションで関わってもらえて嬉しいです。
適切な支援の提供	母から離れられなかったのが、今では迎えに来た先生に駆け寄る姿を見たり、送って下さる動画を見ると楽しんで通うことが出来ています。
保護者様への説明等	心配な事、気になることはいつでも聞いてもらえます。毎月のお便りでもしれませんが、LINEで動画や写真を送ってくださるのが楽しみでもっと送ってほしいです。
非常時等の対応	特に意見はございません。
満足度	楽しんで行ってくれていると思います。先生を見つけると走って抱きつきに行くので嬉しいです。

★教室での自己評価

項目	改善策及び取り組み状況
環境・体制整備	年齢別・お昼寝・クールダウンなど別室での対応も出来るように平日は放課後等デイサービスのお部屋も有効活用していく。
業務改善	業務の負担にばらつきがないように分担して効率よく行うようにしている。
適切な支援の提供	朝終礼でその日の見通しや振り返り、伝達事項の共有や問題解決も即行い、より良いサービス提供に繋げている。支援内容の統一を行うため、個々のスキルアップ研修や実地トレーニングを行う。
関係機関や保護者との連携	保護者様とは送迎時やライン・お電話・連絡帳を含め、情報共有は行えている。保育園や幼稚園、他の療育施設等とより密に連携出来るよう面談時にヒアリングするようにしている。
保護者様への説明責任等	写真や動画等でお子様の様子を今まで以上にお伝えできるようにする。いつでも気軽に相談できる環境作りの為、出来るだけ多くの職員と保護者様と面識が持てる機会を増やす。お子様が変わった変化があればすぐにお伝えするようにしている。
非常時等の対応	緊急時の対応を実践を交えて行うようにする。防災訓練は月1度、地震・火事・津波・土砂災害等パターンを分けて実施。